



わき上がる 風でロマンの 町づくり

広報

肱川

1991

1月

3. 1. 23

No. 94



中野小学校では1月13日、児童とPTAが育てた米でもちつきやもちまきを行い、収穫を祝いました。

中野小学校では、勤労生産学習の一環として、昨年講堂裏の水田約210㎡で、児童と父母と一緒に田植えしたのをはじめ草取り、刈り取り、脱穀などの農作業を体験してきました。また、70㎡の畑で野菜等も栽培しました。

この催しは米や野菜の収穫祭と、中野小開校115周年の祝いを兼ねており、児童や父母等約250人が参加して行われました。

もちつきは校庭で行われ、蒸し上がる一方から、5基の石ウスに移され児童が息をはずませながら交代で杵を振り上げていました。ついたもちはお母さんたちがあんもち約600個と紅白もちに丸められました。

講堂ではもちまきが年齢ごとに4回に分けてまかれ、児童たちはたくさんのもちを拾いニコニコ顔でした。

新春に

手作り米で

おもちつき

今月号の主な内容

＝町報＝

- ◆12月定例町議会……………3
- ◆地域生活文化研究発表会……………6
- ◆社協だより……………7
- ◆お知らせ……………22

＝農林だより＝

- ◆農林会館両組合長年頭あいさつ……………8
- ◆木材の性能……………9

- ◆今月の農作業……………11

＝商工かわかみ＝

- ◆年頭所感……………12
- ◆ふるさと回想記……………15

＝公民館報＝

- ◆熱き風、心を開く人権集会……………16
- ◆分館役員研修旅行……………20

町民のうごき

人口 3,590人(－5)

男 1,748人(－2)

女 1,842人(－3)

世帯数 1,008世帯(－1)

(平成2年12月31日現在)

そば収穫祭 正山地区

十二月九日(日)に正山小学校と正山公民館を会場に、そば収穫祭が行われました。

当日は、手打ちそばの実演、もちつき大会、小学校改築記念碑の除幕式、まんが映画教室等の催し物とバザーが行われました。この祭りは正山分館、正山風の会、正山小学校が共同で主催したものです。

手打ちそばの実演は正山公民館で行われ、道野尾において正山風の会が栽培し、十月三十一日に収穫したそばが使われました。

関係者の皆さんによってそばが打ち上がると大きなカマでゆでて、だし汁や具を入れておいしいそばのできあがりです。このそばは、幼稚園児や小学校の児童には無料でごちそうし、一般の参加者には一杯二百円で販売されました。



手打ちそばはまず団子づくりから

校門の横では、安川正則さんの寄贈により完成した記念碑の前に関係者が集まり、除幕式が行われました。



校門のすぐ横に完成した記念碑

安川正則さんはあいさつの中で「私が在学した当時は二百二十人もの生徒がいたが、一年生を除いてすべて複式学級で授業を受け、七十人程が一教室で勉強し、その時の先生はわずか四人だった」と話されました。

そして、以前の建物は建設年度が一般の方にはわかるものになかったので何とかしたいとの思いから、今回の記念碑を思い浮かべたそうです。

最後に、児童たちが校歌を歌い除幕式を終りました。正午からは講堂で「まんが」が上映されるなど子供向きのイベントも行われ、子供から大人まで多勢の人で一日中にぎわっていました。

野鳥愛護校に指定

一 岩谷小学校 一

このたび岩谷小学校は、野鳥愛護活動の実績が評価され、大日本猟友会より野鳥愛護校に指定されました。これは、小中学校の児童生徒の野鳥愛護思想の普及向上を目的に、昭和五十八年度から毎年県下で一校ずつ指定されているものです。愛媛県では現在ま

で七校が指定されており、今回の岩谷小学校の指定で八校になりました。十二月二十日に、岩谷小学校において伝達式が行われ、八幡浜地方局大洲出張所の林業課長より指定証が伝達されました。岩谷小学校は、「緑の少年隊」が中心になって野鳥愛護活動に取り組んでいます。指定校になったことを機会に今後も益々、恵まれた自然を生かし、野鳥愛護活動を推進して

大谷特産加工工場落成

ひじかわ特産開発センターのチェーンの加工場として、また、特産品の試作研究、生産の場として積極的に取り組み、地域振興に寄与することを目的に、建設が進められていた大谷特産加工場が、このたび完成しました。

十二月十三日には、関係者が加工場に集まり、落成式が行われました。

この施設は木造二階建床面積二百二十七㎡、事業費は約一千二百八十万円です。施設は八五%、備品については五〇%町の補助を受け、大谷特産加工組合が新設したものです。

今後は、この施設を利用して巻きようかん、大麦ケーキ、リンゴケーキ、ジャム、柚ネリ、



大谷特産加工工場

焼肉タレ等を製造するほか、いろいろなものを試作研究していきます。運営は向井喜代香さんを中心に地域の四人のメンバーがあたります。この施設が大谷地域の「風おこしの起爆剤」になるものと期待されています。

風信

鶴髪童顔 心静かな幸せを祈念、だが今年はず第一にダム問題がある。昨年九月に振興計画をま

を進めているが、納得のいくものが得られるか。いずれにしても決断を迫られる年となるであろう。勢力的に対話を深めていかねばならない。また、「新しい町創造計画」をまとめ、その展開を始める年としたい。それぞれ問題は大きい、頑張らねばと決意を新にしている。それにしても思うことはやはり「風」である。自ら起こす風の勢いなくしては何をやっても施設、施策に生命を吹き込むことはできず、将来の活性化につながったものとすることは不可能である。造っただけ、やっただけではあまりに淋しい。

今年のカットは東大寺長老清水公照師の風神像、渡部泰臣氏の紹介で肱川へも風童神の絵を、そして「風なき郷の のどけさも 風童神の現れて 吹く風 起つ波 ゆらぐ花樹」の言葉もいたぐいた。創生の年にしよう。自分は何ができるか 自分は何をするか そこから出発したい (町長)



町づくりの中心に 自然エネルギーを活用

＝12月定例町議会で町長答弁＝

十二月定例町議会は、十二月十九日、二十日の二日間開かれ提案された十一件の議案が全て原案どおり可決されました。

尚、可決された「北方領土の早期返還に関する要望決議」は内閣総理大臣を始め関係者に提出されることになりました。今回議決された主なものは、議員報酬、職員給与関係条例と工事請負契約締結関係二件及び補正予算二件です。

尚、一般会計補正予算は給与費追加の他、太鼓等購入(コミュニケーション)助成備品約二百万円、嘉城地区道路工事約七千万円、火葬場改築関連約九千万円、災害復旧費約一億一千万円等、合計二億九千九百万円です。一般質問は三人で十項目行われました。

一般質問

◎小学校の飲料水について

今年の十月埼玉県浦和市の私立幼稚園において、飲料水の汚染が原因で十五名の園児が入院二人が死亡するという事故があった。町内においてはその様な事は無いと思うが、町内の小中学校六校中、二校が上水道を使用していない。

それらの学校の飲料水はどのような水を使われ、どのような設備をされているか、又、先日行われた保健所の水質検査の結果はどうだったかお伺いしたい。

〔教育長〕浦和市の事故につきましてには非常に関心を持っており、町内の学校につきましては「こ指摘」とおり二校が湧水を使用しており、早速十月に水質検査を行っております。大谷小学校につきましては、十項目の検査全て法定基準値以下で飲用適の判定がありました。岩谷小学校の場合、残念ながら一項目大腸菌群が検出されました。しかし、早速に塩素滅菌を行い、現在保健所からもよろしいというお答えをいただいております。又万全を期すため、各学校に残留塩素測定器を設置し、滅菌状態を測定しております。

◎丸山公園の管理について

富永広氏より脇川町に寄贈していただいた丸山公園シャクナゲ園は、県内でも有数の名所として知られております。

シャクナゲは高山植物で、丸山公園のような低地においての栽培は大変難しく、富永氏の七十年のキャリアと「私もシャクナゲになったつもりで育ててきた。」といわれる花に対する愛情があればこそ、今の名園ができたと思う。町はそれを引継がれてどのように考え、どのような管理体制でやられているのかお聞きしたい。

又、丸山公園のトイレは、道路下であり、利用度が低いと思う。駐車場近くに移転される考えはないかお伺いしたい。

〔町長〕丸山公園につきましては富永広氏の永年のご努力と愛情で育てられた名園を町に引継ぐことになった訳であります。町としましては、今日に至りまじ経過、又、富永氏のご努力につきましまして充分承知しておりますので、その認識をもってこの公園の管理にあたっていききたいと思っております。

〔町長〕将来、公園観光施設等を拡大していく計画でありますので、専門的知識を身につけた職員養成が必要と考えております。

「風の博物館」関係につきましても、まだ計画確定に至っておりませんが、いずれにしても風自然エネルギーを町の一つの特徴としてとらえた町づくりを考えておるところです。その方面の専門知識の養成についても大学などへ職員研修委託について打診中でありまして、出来れば翌年中に実施したいと思っております。ご意見のとおり商品開発、公園関係又、特殊な施設についての専門知識を養成するということについては今後充分配慮していきたいと思っております。

◎専門職の配置について

先に質問した丸山公園の管理又、鹿鳴園の運営、特産開発センターの商品開発等、本来ならその道のエキスパートを配置して、将来の発展を考えるべきだと思いが、現体制ではそこまでいいないように思う。専門家の採用が困難であれば研修、訓練等により専門知識を身につけさせ、担当者の資質向上を図るべきだと思いがどうか、町長の考えを伺いたい。

尚、今後「風の博物館」建設も考えられているが、博物館への配置についての考え方もお伺いしたい。

◎脇川町農林組合の設立について

このことについては、以前に共通役員制をしいて実施したらどうかと検討されていたと聞かされたが、その後どのようになったかお聞きしたい。

折角農林会館を建設し、前向きに検討された先輩方の努力に報いることと合わせて、現今の経済団体の運営の厳しさから見て法的な検討も行い、今後必要な課題として取り上げるべきではないか、町長の考えをお伺いしたい。

〔町長〕このことにつきまして、は昭和五十三年十一月及び翌年三月の定例会において答弁いたしておりますが、「法的なこともあり、組合自身がメリット、デメリットについて充分検討されて、その方向が出てから行政の果たすべき役割があれば充分対応していきたい」とお答えしております。現在における考え方も変わらぬ訳でありまして、これは経済団体でありますからあくまでも団体の主体な状況を踏まえて方向を自らが決められるべきものであって行政が指導すべきものではないと思っております。

◎河辺川ダム建設について

国、県、受益地区の姿勢はその後どうなっているのかお伺いしたい。又、水没地域等の地域振興について出来るだけ早く国、県、受益地区の確約を取つて、地域との折衝を進めていく時期にきているのではないかと思ふが町長はどのように考えておられるのかお伺いしたい。

〔町長〕本日の議員協議会に町がまとめた振興計画を提出することにしております。内容にあらゆるものを網羅した形にしております。町がやらなければいけないこと、住民自身が取組まなければならないこと、国、県

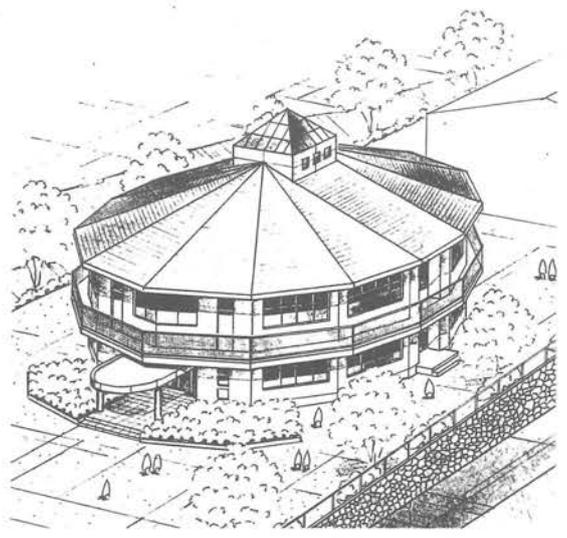
受益地区関連のもの様々なものを折込んでおり、今後ダム問題を解決するためには、関係機関との関連、裏付けがどのようにとれるかその辺が問題であります。そういうことで現在折衝を始めた段階でありますので、今その点についての発表は出来ませんが鋭意そういうような事で折衝を進めております。

それらの状況を踏まえて、議会、町民のご理解をいただけるかどうか、今後の課題だと認識しておりますが諸般の情勢を考えますと切迫した感じを持っております。そういうことで尚折衝をいたしまして、なるべく早く皆さんと共に問題を協議出来る形にしたいと思っております。

◎大谷小学校の改築計画について

大谷小学校の改築は平成三年度に計画されているが、設計図書などの計画内容を関係団体にも公表され、関係者の意見を聞くと共に、学校教育施設だけでなく、地区の生涯教育活動の拠点、施設としても活用できるようにすべきであると思ふが、町長の考えをお伺いしたい。

〔町長〕ご意見の如く考えておりまして、地域でも「夢と希望の特色ある学校」あるいは「風と光を活用した学校」「地域に開かれた学校」「面積を最小に



現在設計業者に設計が発注され上記のような校舎を建築してはどうかと検討されている大谷小学校

求める学校」という目標をもっているような意見を出していただいております。

地域に大谷小建築委員会を、又、町にも同様の組織を設け、それぞれの意見を設計の中具へ体的に生かしていくことも考慮しながら進めております。

尚、「承知のよう」に、児童数が非常に少なくなっております。町も大谷を風おこし重点地域に指定して地域の活性化を図っていきたいと思っておりますが、このことがなくては学校改築もまったくと絵に書いたモチになりかねません。皆さんご支援をお願いいたします。

◎在宅福祉の充実について

町長は毎年ねたきり病人等在

宅訪問をされ、この三年ほどは訪問回数を増やされるなど積極的に在宅福祉の充実にも努められていることは喜ばしいことである。

しかし、在宅看護を要する人達が増加傾向にあり、その介護に要する備品は不足がちと聞く、看護に当たる家族がほしいとき直ぐ対応できるような備品の充実を図るべきだと思ふが、町長の考えをお伺いしたい。

〔町長〕ご意見のとおり高齢化が進んでいきますし、農山村では後継者不在というふうな状況が出てきておる訳でして、いろいろ地域で愛情を通わしながら介護、福祉問題に取組んでいかなければならない状況は次第に深くなつてきております。そうい

うことで町では先般福祉基金を創設し、その対応を考えておるところです。

現在福祉基金も三千万円を超える状況にきておりますし、社会福祉協議会のまごころ銀行へも多くのご芳志をお寄せいただいております。昨年福祉基金で車椅子三台、特殊ベット二台エアーマット二枚その他を購入しております。又、今年度はまごころ銀行でベット、エアーマットを購入してもらう予定になっております。「要望には「不自由をかけたらいふ」と思っております。尚、介護用品の保健センターへの常時展示等啓発的なことも計画しておりますし、褒たきりの方を訪問し、お話を聞いておりますとまだまだ「援助をしなければと気がつくこと」もありますので、今後益々福祉の向上に努めたいと思っております。

◎風おこし対策について

当初の心に風をおこす運動が今は物中心の風おこしに変わってきているように思ふがどうか、又、九月に策定された過疎地域活性化計画の中で「風の博物館」を建設することで既存の公園等を有機的に結び、遊、学、交流で本格的なレクリエーションゾーンを整備する。」とあるが、博物館建設の位置はどこで、計画

ほどの程度進んでいるのかお伺いしたい。

〔町長〕風おこしは、自分の心の中に風をおこすことが原点であると思っておりますし、そういうことで進めて参りました。心の風が行動化し、具体化されなければならぬ訳でありますから、それが物という形をとることになることは当然である訳でありまして、心と物が連動してそして、物が心に帰っていろいろな事が順々進んで行くというふうな事でありまして、物はお心の現れと私は思っております。今後一層心の風をおこし、それがもっともっと具体化するようになってくることを希望しております。

風の博物館は、元年度に地域エネルギーの可能性調査を実施し、諸先生方から風の博物館構想の示唆を受けて、今年度は博物館の検討委員会に切り替えて足利工大、日大、九州大学、東海大学の諸先生方を中心になつていただき現在検討を進めておるところであります。今までに三回委員会を開き、二月にも予定しておりますが、そこで締めくくりをしたいと思っております。現在のところ名称等も確定しておりませんが、いずれにしても自然エネルギーを特徴とした町づくりを考えております。

◎農林業の基盤整備について

年を追うごとに肱川町の農林業は後継者の定着はなく、先行き不安であることは承知しているが、町が自ら、又、経済団体に働きかけて中堅農業者の指導育成に力を入れる時だと思ふが町長の考えをお伺いしたい。

〔町長〕

ご意見のとおり非常に大切な問題でありまして、今後の農林業問題あるいは地域の問題を考えます時に、必ず後継者、中堅農業者の問題が中心になってくる訳でありまして、町としてもいろいろな角度からいろいろな方法をとりまして今日まで努力して来ている訳であります。確たる成果が得られないのは残念ですが、人づくりということはやはりの結果が仲々目に見えるものではございませんし、それぞれの取組みの姿勢の中からのいろいろなことが生まれて来ているだろうとは思いますが成果はこれだということな事は仲々言えない訳であります。

しかしながら、現在の農業問題は農業そのものの中に、あるいは農業者自身にも問題がある訳でありまして、農業を取りまく情勢は「承知のとおりでありまして、又、中堅農業者も指導育成を待っているようではどういこの困難な状態を克服できないのでありまして、やる気の

ある方には支援をしていく、事業面でもいろいろな事業も用意してついでありますので対応出来ると考えております。中堅農業者も自らが立ち上がり、心に風をおこしていただく、そういう形と行政、経済団体が一体となった形が生まれることを願っております。

◎木材加工施設について

林産物の付加価値をつけ、林家の所得増大を図ることを目的に加工施設の計画をされているが、その後具体的な計画も出来上がっているのではないかと思ふが、どのような内容で取り組まれているのかお伺いしたい。

〔町長〕

森林組合理事会に参りご提案してからのかなりの時間が経っております。林構事業で設置を考えられておりましたが、県が難色を示しており、これに当てはめられないと言っております。それは大規模で考えられることだろうと思いますが、私が提案したのは、肱川の現在の山の材積に依じたものから出発して順次充実していく考えだったのですけれども「理解が得られません。今後組合とも尚話し合い方向付けを進めたいと思っております。

議決した議案

◎町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

◎特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について

◎肱川町教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について

◎職員の給与に関する条例の一部改正について

◎平成二年度肱川町一般会計補正予算(第四号)

二億九千九百万円追加し、総額二十七億一千二百万円とした。

◎平成二年度肱川町簡易水道特別会計補正予算(第一号)

工事費等八百六十五万九千九百円追加し、総額四千九百九十五万九千円とした。

◎北方領土の早期返還に関する要望決議について

◎工事請負契約の締結について(二件)

○町道奥滝山上中野線災害復旧工事

契約金額三千七百二十万円

相手方(株)上田建設

○嘉城地区道路改良工事

契約金額六千八百万円

相手方(有)川上建設

◎委員会所管事務調査の閉会中の継続調査について(二件)
・総務委員会
・産業委員会

和氣裕明くん(上嵯峨谷)
平成元年2月8日生
1歳11か月



お父さん 栄一さん(31歳)
お母さん 豊子さん(29歳)

サービス精神旺盛な我が家の長男は、「ハイハイ」という元気の良い返事とともに、食事時には、配膳、しゃもじを持ってごはんつきと、お手伝いをよくしてくれます。
お姉ちゃん仕込みのけんかは困りの者をびっくりさすこともしばしばです。
元気でのびのび育ってね!

中宮隆志くん(協生)
平成元年2月11日生
1歳11か月



お父さん 義隆さん(33歳)
お母さん 慈さん(26歳)

明治・大正・昭和・平成、我家四世代家族、目下の新参者の隆志であります。
彼の今後は、神のみぞ知る、であります。今は、アクション、スリル、サスペンスと感動ワクワクの毎日の様であります。

第四回 地域生活文化 研究発表会に出場

大谷小学校

十二月十四日に愛媛県県民文化会館において県内の小中高等学校の代表十九校が参加して、第四回地域生活文化研究発表大会が行われ、大谷小学校も八幡浜管内代表に選ばれ出場しました。

この大会は郷土の文学、歴史、伝説等の地域の生活文化を研究することにより、ふるさとを再認識させ、歴史と伝統に根づいた新しい生活文化を創造させることを目的に、毎年開かれていくものです。

当日は大谷小学校の文楽クラブの十一人が、「大谷文楽の歴史とその伝習」を研究テーマに取り上げて発表し、努力賞を受賞しました。

発表では、最初に大谷文楽の由来を紹介し、次に、由来当時

ゆとりの国民年金基金 平成3年度スタート

農業や自営業の方で、国民年金だけに加入している人に、ゆとりある老後生活を送ることができるよう、上乘せ年金として「国民年金基金」制度が発足します。

この基金は、「地域型国民年金基金」とよばれ、各都道府

の世の中と脇川の様子を紹介、そのあと文楽の口上や人形を使い、三人遣いの方法、主な動きの型、人形の構造等を紹介しました。

最後に、大谷文楽は昭和三十四年に県の文化財に指定され、現在は久保地区に文楽伝習館が建てられていることや、クラブの練習も伝習館で、昨年からの引き続いて「鬼一法眼三略の巻五段目」を練習していること等を紹介しました。

郷土文化を見直し、その伝統や歴史に少しでも触れてみようとしたと始めた文楽ですが、その奥の深さに誇りを感じています。今後も練習を深め、大切に守り受け継いでいきたいと述べ発表をしめ終わりました。

県に一つ設立されます。

基金には、国民年金の第一号被保険者であって、保険料の免除者や農業者年金の加入者を除き、だれでも任意に加入できます。

基金の掛金は、社会保険料控除の対象となり、受ける年金は他の公的年金と併せて、公的年金控除があります。

体力測定用器具設置

保健センター

このたび体力測定用器具を購入し、健康増進室に設置しました。この器具は体力増進を目的にヘルスパイオニア事業で購入したものです。

今回設置した器具は握力計、背筋力計、垂直とび測定器、肩腕力計、肺活量計等です。これらの器具を使って、日頃の自分の体力を測定し、測定結果を



健康増進室に設置された器具

体力増進に役立ててください。

愛媛県知事 選挙結果

十二月二十九日に執行された県知事選挙の脇川町における開票結果は次のとおりです。

投票率は、前回の七八・三六%より五・四一%低い七二・九

- ▽当日有権者数 二、七二一人
- ▽投票者数 一、九八五人
- ▽有効投票 一、九七六票
- ▽無効投票 九票
- ▽候補者別得票数
 - 衣川 義隆 二〇六票
 - 伊賀 貞雪 一、七七〇票

投票区別投票率

投票区	有権者数 2.12.29 現在	投票率	
		今 (2.12.29) %	前 (62.1.11) %
第1 (役場)	878	76.42	80.25
第2 (岩谷)	284	71.48	75.73
第3 (宇和川)	467	65.74	76.72
第4 (大谷)	489	69.53	75.49
第5 (中津)	69	82.61	83.95
第6 (予子林)	298	81.21	79.06
第7 (中居谷)	236	69.92	81.51
計	2,721	72.95	78.36



ワンポイント健康

誕生日にはケーキを食べるより
歯医者さんに行く習慣を

「年をとれば入れ歯」というのがこれまでの常識でした。しかし歯がぬけるのは老化現象ではなく、一種の病気のせいなのです。手入れ次第で生涯健康な自分の歯でものをかむことができます。歯医者さんも、「抜いて入れ歯」から「抜かずに修復」という考え方に大きく変わってきています。それも虫歯やシノーローをごく初期のうちに発見して治療したり予防すればこれにこしたことはありません。

そこで年に一度、痛くなくても歯をチェックしてもらおうのはとてもいいことです。めいめいが自分の誕生日に行くようにすれば忘れることもありません。今年から即実行を。

新年のいあいさつ

社会福祉協議会長
福田 保

新年おめでとうございます。平成三年という新しい年が皆様にとって幸せ多い年でありますよう祈るものでございます。

さて、日頃は、社会福祉活動にご理解を頂き有難く存じております。特に去る十二月の歳末たすけあい募金には、町民の皆様の格段のご協力を得ましたことを深く感謝申し上げます。皆様から頂きました温かい善意は、長期療養者、身体障害者、ねたきり病人、困窮者の人達に民生委員さんを通じて年内にお届け致しました。

社会福祉協議会は、その公共性、社会的重要性という立場から国、県、町から多くの補助金を頂いておりますが、基本は、すべての人が幸福になるよう国民によるめぐまれない人々のための民間団体であり、町民の皆さんの浄力、浄財をもって活動することを主旨としております。近年そのことに対する皆様のご理解も深まり、昨年十一月に行いましたボランティア研修会には、七十名もの多くの方のご参加を頂きましたし、温かい心のこもった浄財も毎月のようにお寄せ頂いております。これらの温かい善意は一円たりとも無駄にする事なく、恵ま

れない人々はもとより、益々重要性の高まる高齢者対策等に役立て福祉の充実をはかりたい所存でございます。

今後共、町民の皆様のご指導と温かいご協力を切望致しまして新年のごあいさつといたします。

お気軽に

ご相談ください。

平成三年の心配ごと相談日程決まる。

平成三年の心配ごと相談所の日程と相談員がままりました。

次の事項について、ご相談にに応じていますのでお気軽にご相談下さい。

民生委員は、社会奉仕の精神を持って、地域社会の生活に困っている人や、児童・心身障害者・老人等問題をもっている人々に対して、次のような相談、指導をしております。

- ア、生活保護に関する調査、助言、指導。
- イ、児童福祉の措置に関する調査、助言、指導。
- ウ、身体障害者の援護措置に関する相談、助言、指導。
- エ、老人に関する相談、助言、指導。
- オ、精神薄弱者の援護に関する相談、助言、指導。
- カ、母子福祉に関する相談、助言、指導。

平成3年心配ごと相談所担当者及び日程表

相談日	担当者	相談日	担当者
1/7(月)	福田 保・藤高エミカ	1/21(月)	西本美喜子・宮田 静
2/5(火)	福田 保・大塚千鶴江	2/20(水)	池田 真市・万願寺睦江
3/5(火)	福田 保・後藤 忠	3/20(水)	宮田 義盛・楮本 喜子
4/5(金)	福田 保・坂 休恵子	4/22(月)	山内 清勝・和気ヒデ子
5/7(火)	福田 保・久保 正幸	5/20(月)	藤高エミカ・西本美喜子
6/5(水)	福田 保・宮田 静	6/20(木)	大塚千鶴江・池田 真市
7/5(金)	福田 保・万願寺睦江	7/22(月)	後藤 忠・坂 休恵子
8/5(月)	福田 保・和気ヒデコ	8/20(火)	山内 清勝・楮本 喜子
9/5(木)	福田 保・西本美喜子	9/20(金)	宮田 義盛・久保 正幸
10/7(月)	福田 保・藤高エミカ	10/21(月)	宮田 静・大塚千鶴江
11/5(火)	福田 保・池田 真市	11/20(水)	万願寺睦江・後藤 忠
12/5(木)	福田 保・坂 休恵子	12/20(金)	和気ヒデ子・山内 清勝

※出務時間 13:30~16:30

※場 所 肱川町公民館(3F)相談室

歳末たすけあいに多額の募金

平成二年度の歳末たすけあい運動も十二月三十一日で一応終了となりましたが、期間中は、町内の皆さんから浄財を頂き、目標を達成することができました。

ありがとうございます。協生部落の安川正則さんからは、毎年、歳末たすけあいに多額の募金をして頂いておりま。今年も一〇九、一〇〇円の浄財を頂きました。

このお金は、自宅の床間に大きなホテイ様を置き、年間を通じて、一〇〇円、五〇円、一〇〇円の金種のものを入れ、たまってお金だそうです。

歳末たすけあいの募金は、町内のめぐまれない人達に対して民生委員さんを通じて、使わせて頂きます。

誠にありがとうございました。

社会福祉協議会へご芳志

社会福祉協議会に、ご寄付を頂きました。当協議会の福祉事業に活用させて頂きます。

◎上敷水 和気 藤秋さん



ホテイ様と安川政則さん

農林会館両組合長が年頭のあいさつ

肱川農業協同組合

組合長 鉾 岩 勉

謹んで新春のお慶びを申し上げます。いっておりますことに対して厚くお礼を申し上げます。

輝かしい平成三年を迎えるにあたり皆様方の益々のご健勝と農作物についても順調な年となりますようご祈念を申し上げます。平素皆様方には、農協の事業運営につきましてご協力と各事業活動にご尽力をいただき

肱川町森林組合

組合長 河野 美 治

明けましておめでとうございます。皆さまご健勝にて良い年をお迎えのことと拝察し、およろこび申し上げます。

森林組合も昭和二十六年に森林法等改正され戦後の新しい肱川村森林組合が設立されて四十年目を迎えます。

特にご利用いただきますようお願いを申し上げます。

平成三年の景気の動向については引続いて個人消費は堅調であると云われておりますが、内外の情勢から後半減速傾向になると思われます。

尚農業問題ではガット新ラウンド(多角的貿易交渉)と乳製品でんぶんの輸入制限措置を維持することについての二国間協議、四月には牛肉の完全自由化になること等の外、多くの問題をかかえております。引続き組織の結束による強力な農政活動の展開が必要であると思っております。

丁度農協に於きましては、平成三年度の事業計画策定の準備をしておりますが、特に営農に

ついては、具体的には各部会で検討していただきますが、高品質の農産物生産により市場価値を高める努力を積み重ねて行きたいと思っております。

尚、平成二年度事業として大谷地区家畜糞尿処理施設事業として堆肥施設の建設を進めることとしており土作対策として期待をしております。

尚、資金力増強の外、色々ご意見をいただき前向きな計画となるよう努めて参りたいと思っておりますので宜敷くお願い申し上げます。

皆様方のご多幸をご祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。

諸情勢は新しい流れが加速されつつありますが、肱川林業も、組合活動も今からの時代に生きる新生組合一年度にふさわしい活動が必要であると思っております。森林の公益性は誰もが論じられていますが、みんな育てようとする施策にあっては貧弱であります。組合・組合員一体となって木材需要拡大、健全林造成、林業基盤整備など政策運動を展開しつつ、何を云っても実行が肝心ですので、間伐の推進、林道、作業道等の開設、優良林造成施策と組合事業の拡大をすゝめて参ります。

肱川町も高齢化が進み、林業

のこぎやんの教育ローン

農協では、担保なしで三〇〇万円までご利用いただける便利な教育ローンを用意しております。お子様の日頃のがんばりに応えていただくために、ぜひのうきよう教育ローンをご利用ください。

●ご利用できる方

■ご子弟が高校・高専・短大・大学及び各種学校(就学年数二年以上)に就学中又は就学予定の方。

■二〇歳以上の方。(組合員でない方は窓口でご相談下さい) ■その他、当農協が定める条件を満たしている方。

●資金の使いみち

就学子弟の入学金・授業料・学費・寄付金・下宿代など。

●ご融資額

三〇〇万円まで(年収の五〇%以内)ただし、クローバローン・定期積金ローンの借入、ならびにカードローンの契約がある場合は制限があります。

●ご返済期間

学校卒業後五年以内(在学中は据置期間となります。)

●利率

金融情勢により変動しますので農協窓口でおたずねください。

●保証

愛媛県農業信用基金協会の保証をうけていただきます。(保証料は〇、三五%)

●お申し込み時に用意いただくもの

- ご子弟の合格通知書または在学証明書
- 印鑑・印鑑証明書(一通)
- 収入証明書
- 住民票謄本

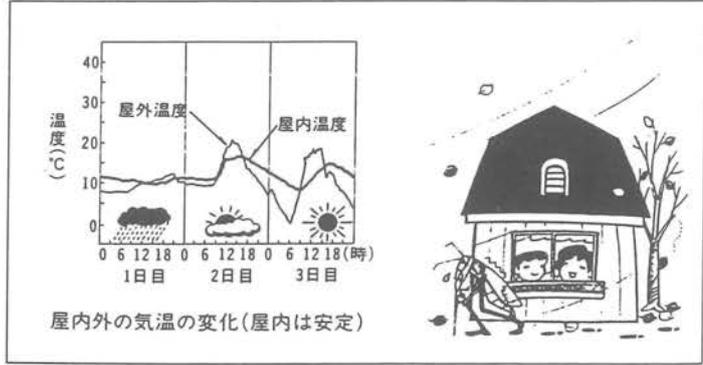
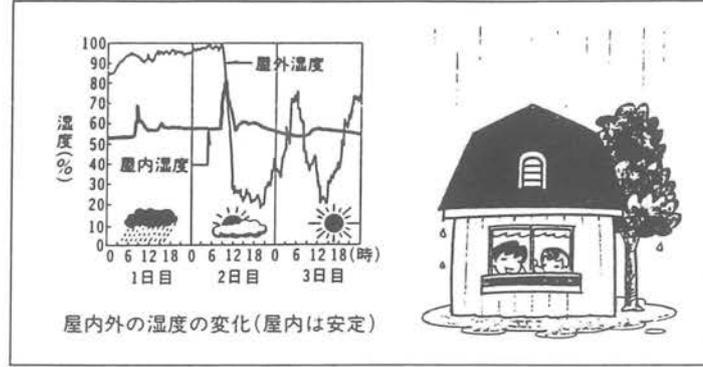


木材の性能

新年明けましておめでとうございませう。本年もよろしくお願い致します。

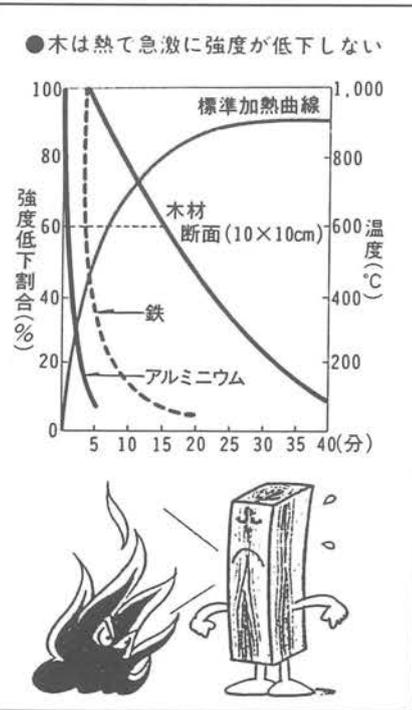
ところで、肱川町のみなさん『木材の性能は?』と聞かれたら何を頭に浮かべますか。良いこと悪いこと色々ありますが、木造の家に住み周りを木々に囲まれた生活の中で、もう一度木というものを見直してみたい。

昔ながらの木の家は、じめじめ



空気乾燥すると水分を吐き出して乾燥をやらげます。木

めした梅雨期、その後続く蒸し暑い夏を心地よく過ごせるようできています。開放しにできる部分が多いので風通しがよく、湿度の高い時には空気中の水分を木が吸い取ってくれるからです。ちなみに10.5cm角3mのよく乾燥した柱一本でビール瓶一本半分の水を吸い取るといわれています。

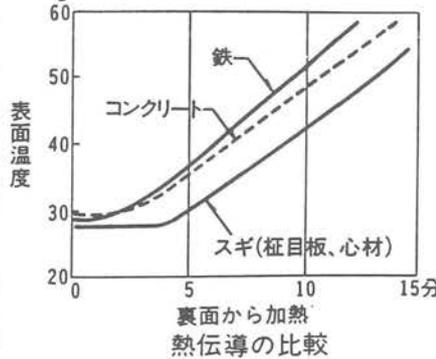


また、サウナの室内は床から天井まですべて木の板張りで、ベンチも木でできています。室温は100℃ぐらいになります。肌にふれる床やベンチはそれほど熱くなりません。これが鉄やアルミだったらやけどをしてしまいます。また、熱が外に逃げ

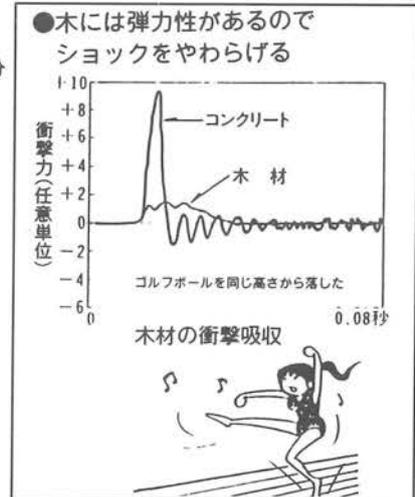
にはまた、熱を伝えにくく、音を適度に吸収する性質があるもので冬でもそれほど寒くなく、室内は静かだというよさがあります。

木にはこのような住み心地をよくする働きだけでなく、見た目に美しくなごやかな雰囲気をももたらして暮らして潤いを与えてくれる働きもあります。

この働きは、木材の代替材に非常に多く取り入れられているように、これからの忙しい毎日を過ごす人々のこれからの暮らしと住まいを考えるうえで大切なことです。



だして室温が上がらないかもしれません。熱を伝えず肌ざわりもよい性質がいかにされています。そして、体育館の床はというと、たいいてい木を張ってあります。跳んだり、走ったりするとき足に加わる



衝撃をやわらげるためです。もちろん短所もありますが、木材の良さを再認識したうえで木・木材・林・森等と今年一年じっくりつきあっていってはいかがでしょうか。

林改 渡邊 晋輔





優良材生産は直材づくりから!



椎茸生産はクヌギ林造成から!

第563回 平成2年12月17日
県森連市より (単位才当り:円)

長さ	末口径	スギ		ヒノキ		マツ	その他
		チョク	マガリ	チョク	マガリ		
4m	7cm下	本 273	本 235	本 424	本 244	18cm上 91 24cm上 74 30cm上 126	松バルブ 7cm上 末口長さ 1.7~1.9m 25円
	8cm上	本 254	本 227	本 529	本 272		
	11cm上	72	-	97	-		
	13cm上	70	-	161	-		
3m	7cm下	本 225	本 164	本 225	本 146	18cm上 84 24cm上 88 30cm上 -	雑バルブ 7cm上 末口長さ 2m 43円
	8cm上	本 211	本 235	本 259	本 244		
	11cm上	46	-	58	-		
	13cm上	84	-	156	-		
2m	7cm下	本 110	本 -	本 110	本 -	13cm上 - 30cm上 -	バリ材 (松・杉・桧) 末口 3~6cm 長さ 2m 72円
	8cm上	本 160	本 -	本 160	本 -		
	11cm上	28	-	63	-		
	13cm上	-	-	-	-		
6m	13cm上	91	-	305	-	松バリ材 16~22cm 3m 74円 4m 84円	
	18cm上	76	-	270	-		
特選	13cm上	-	-	-	-	-	
	18cm上	340	-	860	-		

備考 小径木以前高値相場。あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願致します。

肱川町森林組合乾椎茸相場表

- 市売日...平成2年12月5日
- 販売数量...62ケース 717.8kg
- 平均単価 2,800円 (秋子)
- 銘柄別単価

銘柄	単価	比率%	銘柄	単価	比率%
大厚	7,000	-	特大大葉	-	-
中厚	6,190	3	特用中葉	-	-
小厚	3,390	3	特用小葉	-	-
大ウス	4,000	3	大バレ	2,460	19
中ウス	3,610	5	中バレ	2,760	19
中小ウス	4,330	6	小バレ	2,230	13
小ウス	3,390	5	変形	2,300	3
ジャミウス	2,490	3	色落ウス	2,400	-
冬大	-	-	色悪	1,610	16
冬中	-	-	黒子	830	2
冬小	-	-	その他	-	-

- 概要 香信大葉、中葉、どんこ系は依然強く推移したものの特用バレ、格外、ジャミ等の秋子は弱保合となった。バレ品、格外品の低級品率を低下するように努力しましょう。

農業交渉で

米国とECが激しく対立

ガット(関税と貿易に関する一般協定)の多国間貿易交渉(ウルグアイ・ラウンド)は、四年以上にわたる交渉の最終的な合意をめざし、十二月三日から七日まで、ベルギーの首都ブリュッセルで閣僚会議を開催しました。今回のラウンド交渉は十五の分野にわたって進められてきました。が、実質的な全身がほとんどはかられてこなかったために、閣僚会議では農業、サービス、繊維等特に困難な八つの分野で大臣レベルの分科会が設けられ、三日の夕刻から具体的な詰め込み交渉に入ろうとしました。

スウェーデンのヘルストローム農業大臣が議長を務めた農業分科会は六日の深夜にかけて断続的に開催されましたが、結果的には具体的な問題に関する協議に入るこたさえてきませんでした。他の交渉分野においても、最終的な合意には達せず、七日午後開催された閣僚会議は、「この会議を終了するのでもなく、中断するのでもなく、継続することとし、来年の早い時期に適当なレベルで再開することを確認するに留まりました。」

農業交渉の分科会では、最後まで米国とEC(ヨーロッパ共同体)が激しく対立したのです。ECの輸出力の弱体化とその共通農業政策の後退をねらい、国内保護・輸入制限・輸出補助の三分野の内、輸出補助を多めに削減しようとするアメリカの主張に対し、世界第二位の農産物輸出「国」へ成長したECは強く反発し、従来の主張をほとんど変えようとしませんでした。

具体的な議論に入れないまま暗礁に乗り上げた農業交渉のこう着状態を打開していくため、農業分科会の議長が六日午後、「国内保護や輸出補助金などを来年から五年間で三〇%削減し、最低輸入



「基礎的食料の自給」を強く訴える日本の代表団

量(ミニマム・アクセス)を国内消費量の五%にすること」などの妥協案を示しました。これに対し日本・EC・韓国などが強く反発しましたが、特にアメリカおよびアルゼンチンなどのケアンズ・グループがEC側を激しく非難したため、会議を続けられない状態になったのです。

今月の農作業

野菜

露地野菜の冬期管理

① タマネギ

根の発育は、地上部より二十日程度先行しているので、追肥が遅れないようにする。一月中旬から三月下旬の間に、1㎡あたり化成肥料(NK化成)一握りほどを、三〜四回追肥する。

また、逆に四月以降の遅い追肥は、チッソの遅効き・病気の誘発等により、貯蔵性を失うので絶対に避ける。

冬の間、雑草が生えてきたら早めに抜き取る。

② イチゴ

一〜二月にビニール、またはポリフィルムでマルチングしておきます。こうすると土中の水分を保ち、果実に土がつくのも防ぐことができ、生育を促進して収穫も早まる。四月にはいつたら、根焼けを防ぐためマルチの上からワラを敷いておけば、いっそう効果がある。

ポリマルチを行わない時は、ワラなどを敷いて乾燥を防ぐとともに、かん水を心がける。冬の間に変色した古葉は、早めに取り除き、株元を清潔に保つ。

果樹の管理

栗

一、整枝せん定

栗は一般的に密植で放任に近いものが多く、そのような園では葉のある内に縮間伐をされていと思いますができてない園はまず縮間伐をすることが基本です。

①せん定の要領：栗のせん定は間引きせん定を主体に行う。ノコを用いて、逆行枝、交差枝、重なり枝(平行枝)極端な下垂枝などを切り取れば、一応せん定は終わりである。また、樹令が進んで新梢の伸長が悪くなりはじめた時点で、心抜きと称して主幹を切り下げるせん定を行うと、樹の内部まで受光量が多くなり、新梢の発生を促し、樹勢の維持が図れる。ただし、このような太枝を間引いたあとには、切り口のゆ合をよくするため、木工用のボンドを塗布して枯れ込みを防止する。

低樹高の樹形とし、充実した結果母枝(直径〇・七mm以上で長さが三〇〜五〇cm位)を一㎡に五〜六本あれば一〇a当たり五〇〇kgの生産があることを考えて残せばよい。

※せん定残さ中の在来寄生蜂利用によるクリタマバチの

防除

クリタマバチには、クリマモリオナガコバチやクリタマヒメナガコバチ、トゲアシカタピロコバチ等、十数種類の在来寄生蜂が知られています。このうちクリマモリオナガコバチは主要な寄生蜂です。この寄生蜂はゴールの中にいるクリタマバチの幼虫の体液を吸汁したり、寄生することで死亡させクリタマバチの密度を低く抑えることが知られています。

クリマモリオナガコバチはクリタマバチが前年の春に作ったゴールの中で越冬し翌年の春に羽化してきます。

しかし、これまでクリマモリオナガコバチは越冬しているゴールをせん定せずと一緒に焼却または埋没処理していたため、十分増殖することができませんでした。

クリマモリオナガコバチの羽化が終了するまで(四月下旬頃)園内にせん定くずを置くことはこの寄生蜂の増殖をうながし、クリタマバチへの防除に利用することを可能にします。



畜産

一、家畜の管理

家畜の繁殖に共用する乳牛や和牛、豚等は運動や日光浴が不足すると健康をそこねて、繁殖能力が低下することがあるので、できるだけ運動場に出して、自由に運動や日光浴が出来るようにする。運動場に出す時刻は午前十時から午後三時までの間とする。

二、飼料給与

気温が低下すると家畜の体熱放散が多くなり、エネルギーの消耗が10〜30%も増加するといわれている。このため、牛には良質粗飼料(乾燥・ヘイキューブ・ビートパルプ)を増し飼いし、豚には濃厚飼料を、採卵鶏には穀類を若干多めに給与する。

三、畜舎の管理

①畜舎内に寒風の吹き込みを防ぐため防風カーテンやビニールフィルム等で、すきま風を少なくする。

②牛床や豚床には、こまめに敷物を入れ替え乾燥状態に管理する。

③尿溝は清掃して尿の流れを良くする。

④離乳直後の子豚や子牛のヌレ子等は体力が弱いので寒さの影響を受けてカゼを引いたり、下痢をするので、必要に応じて温熱器具等を利用して暖房する。

2月集配予定表

- 2月5日(火)野尾・小藪方面
- 2月6日(水)中津・子林方面
- 2月7日(木)大谷方面
- 2月12日(火)宇和川北方面
- 2月13日(水)岩谷方面
- 2月14日(木)宇和川南方面
- 2月19日(火)野尾・小藪方面
- 2月20日(水)中津・子林方面
- 2月21日(木)大谷方面
- 2月26日(火)宇和川北方面
- 2月27日(水)岩谷方面
- 2月28日(木)宇和川南方面

2月醬油配達予定表

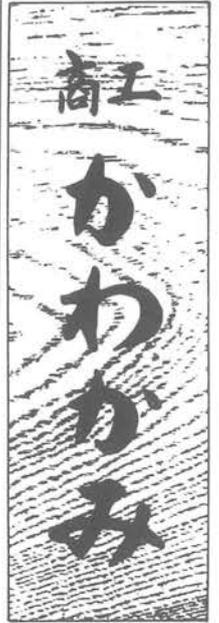
- 2月1日(金)大谷方面
- 2月8日(金)野尾・小藪方面
- 2月15日(金)宇和川方面
- 2月22日(金)子林方面

LPG2月配達予定日

- 2日(土)大平・大屋敷
- 5日(火)上石丸・師走野・中野・小藪
- 7日(木)藤之原・町・瓜生谷
- 9日(土)八重栗・上森山・大成・正山
- 12日(火)久保
- 15日(金)嵯峨谷・見野越・月野尾・京造

京造

- 18日(月)広常・影地
- 20日(水)森・脇柴・硯・久下・樋口・上汗生
- 22日(金)白石・上小藪・中小藪
- 25日(月)中居谷・嘉城・共栄・道野尾・赤岩・下汗生
- 27日(水)大駄場・柳・郷
- 28日(木)敷水全域・菟野尾



編集・発行
川上商工会
☎ (0893) 34-2531

年頭所感

わが国経済は、内需主導による景気拡大傾向にあり堅調に推移しているが、中小企業を取り巻く環境は極めて厳しい状況にある。

当地域においても、人口の減少、高齢化の進行等多くの問題を抱え、また引き続き不況による景気の停滞等依然として厳しい状況が続いている。そこで今回は、平成三年の年頭にあたり久保田商工会長はじめ各部会長の所感を掲載させていただいた。

協調とサービス精神で 地域振興に貢献を

川上商工会会長 久保田 仁之



新年あけましておめでとうございます。平成三年の新春を迎えるにあたり、商工会員百七十二名を

代表して地域住民の皆様から
お喜び申し上げますと共に、本年も相変わらずよろしくお願い申し上げます。
昨年を振り返ってみますと、国内の経済情勢は都市部を中心に好景気が長期にわたり持続していましたが、私共農山村部におきましては、高齢化、過疎化及び貸付金利の上昇と地域を取り巻く経済環境は一段と厳しいものがありました。そうした中で商工会におきまして

は、十一月のふれあいまつり、年末の大売出し、贈答品コーナーと活性化事業を実施しました。また、昨年は商工会法施行三十周年の記念すべき年であり、全国一斉の事業として愛の三十万人献血運動及び愛の三十万ドル募金運動を実施し多くの方がたのご協力を頂きました事に對し心からお礼申し上げます。愛媛県下の事業としましては桜苗木の植樹を行い、肱川町、河辺村にそれぞれ三十本を植樹しました。やがてきれいな花を咲かせてくれるものと思います。当商工会の事業としましては、六月十日の「商工会の日」の一斉奉仕作業で国道・県道添いの空缶拾い、カーブミラー清掃を実施しました。また、商工会法施行三十周年を記念して「地域社会に貢献する商工会」のテーマが定められました。
これを機に私共商工会員も、今後一層地域住民の皆様とのふれあい、協調、真心、サービスをモットーに地域に貢献しつつ活性化に努めて行きたいと思っております。商工会あるいは会員企業のあり方等に對し、何なりとご意見ご要望をお聞かせ頂ければ幸いです。今後共どうぞよろしくご指導賜りますようお願い申し上げます。
平成三年が地域にとりましても皆様方にとりましても最良の年でありますよう、全会員心より祈念申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

川上商工会青年部

部長 富永美千也



新年あけましておめでとうございます。皆様方も、心を新たに新年を迎えられたのではないかと思います。

昨年の商工会青年部の主な活動としては、肱川町内若い世代親善ソフトボール大会、夏まつりではビックリ市、クジ付もちまき大会を開催しました。また、経営改善や地域活性化のための講習会、ピデオ研修会、県外研修では、東京・横浜で商店経営、街づくりについて研修を行いました。また、商工会法施行三十周年記念事業への参加等、青年部活動としては充実した一年だったと思っております。

その他、毎月十日には部員の資質向上、意志の疎通と親睦を深めるため月例会を開催しています。こうした青年部活動を推進する中で、後継者難等による部員の減少という悩みもあります。青年部に加入して一緒に活動してくれる若い力を求めています。
今年、青年部二十五周年記念の年でもあり、部員全員が力を合せて意義のある年にしたいと考えています。どんな事業や活動にし

ても、親会の指導と地域住民の方
がたの理解がなくては実施するこ
とは出来ません。今後共よろしく
お願い致します。

川上商工会婦人部

部長 山内幸枝



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様おそろいで良い年をお迎えになられた事とお慶び申し上げます。

昭和から平成となり早くも今年で三年目を迎え、月日のたつのは本当に早いものでございます。昨年は、天皇陛下の即位の礼、正殿の儀、また秋篠宮様のご結婚が行われ、テレビの前にくぎ付けとなっていました。

一方イラクの日本人質、平和協力法案等、不安なニュースもあり、私達日本人にとって意義の深い忘れられない年であったと思っております。元日が来るたびに年を重ねていく宿命は避けられません。
私達商工会婦人部としても、一日一日を大切に商店婦人として経営に対する自覚も新たに、充実した一年になるよう努力して行きたいと思っております。どうかよろしくお願い申し上げます。

川上青色申告会

会長 佐藤 久 綱



新年あけましておめでとうござい
います。平成三年の新春を迎えら
れ心からお慶び申し上げます。
青色申告会にとりましては、昨年
は、青色申告制度創設四十周年の
記念すべき節目の年でした。全国
青色申告会連合会、愛媛県青色申
告会連合会、大洲税務署管内青色

川上青色申告会婦人部

部長 山内 鈴 恵



新しい年明けと共に今年こそは
と、見えない何かを求め金毘羅参
りに行きました。

押しつぶされそうな人込みの中
を、真剣な顔で前へ前へと進んで
いる人達の中の私も一人でした。
こんな事で私の新しい年が始まり
ました。

青色申告会婦人部長として一年
何も分からずして終わろうとして

申告会連合会において記念行事が
行われ、イメージチェンジのため
青いになりました。今後は、なお一
層の充実を図るよう努力しなけれ
ばなりません。

当地域におきましても過疎化、
高齢化が進み商工業者にとりまし
ても、経済環境は非常に厳しい状
況にあります。今年には四十一年目
を迎え、心を新たにお互いが協力
し、助け合って頑張らなければな
りません。今後共、皆様のご協力
とご支援を賜り、平成三年が良い
年であると共に、ご多幸を祈念し
て年頭のご挨拶と致します。

料飲組合川上支部

支部長 和 氣 邦 嗣



明けましておめでとうございま
す。皆様におかれましては、ます
ますご健勝にて新年をお迎えのこ
とと心からお慶び申し上げます。
新年にあたり、新しい気持ち、引
き締まった気分で「今年こそは」と
決意を新たにされた事と思います。

我われ飲食業を取り巻く最近の
環境は、他業界同様厳しさを増し
ています。カラオケの著作権問題
また、同じ料理でも値段が高いと
か、料理の内容が悪いとか色いろ
な意見を耳にします。もう一度自
分を振り返り、消費者の身になっ
て、商売の基本である気配り、目
配り、心配りのサービスを組合員
お互いが心掛け努力して行きたい
と思えます。

大洲食品衛生協会川上支部

支部長 岩 田 清 茂



新年あけましておめでとうござ
います。
昨年は、会員の皆様には研修旅
行等、食品協会の諸事業にご協力
をいただき厚くお礼申し上げます。
また、指導員の方がたには食品衛
生管理、実態調査の巡回指導、新
規施設の衛生指導をいただきお礼
申し上げます。

本年も引き続き、大洲保健所、
大洲食品衛生協会の指導のもと、
食品衛生及び食中毒予防には万全
の対策で、消費者に安心して買い
物をしていただけるよう食品営業
に心掛けたいと思っております。会
員の皆様もよろしくお願い致しま
す。また、会員研修旅行等食品衛
生協会の諸事業を、会員の皆様と
共に遂行して行きたいと思えます
ので今後共よろしくお願い致しま
す。

歳末連合大売出し

当選者発表

川上商工会と肱川クローバース
クラブ会主催による、歳末連合大

売出しの抽選の結果、一等、二等
に次の方がたが当選されましたの
で発表します。

- ※一等当選者
竹田厚美、往見 守、三瀬 正、
沖浦賢嗣、宮岡智子、上川定子、
三井藤子、清家頭仁、小山誠一、
中川義彦、森 玲子

- ※二等当選者
木本喜久栄、白岩悠希、柴野恵美
子、往見 守、和気奈々恵、岡山
俊司、大森広幸、中岡哲春、清水
満海、富永可愛、土居洋子、久保
田仁之、出水美菜子、古野吉武、
山中美茂、梅木千穂、上田紗希、
二宮福恵、中川義彦、松岡良美、
長岡善男、中田 伝、北川あけみ

商工会法施行30周年記念事業

桜の苗木を記念植樹

川上商工会では、愛媛県商工会
連合会の商工会法施行三十周年記
念事業の一環として、昨年十二月
に桜の苗木六十本の記念植樹を実
施しました。

当日は、役員、会員の協力によ
り、肱川町では鹿鳴園の周辺に三
十本、河辺村においてはふるさと
の宿の周辺に三十本をそれぞれ植
え付けました。数年後には観光客
の目を楽しませてくれるものと期
待しています。



会 員 ニ ュ ー ス

漆塗仏壇製作所新規開業

二村仏壇製作所

この度、脇川町小蔵で二村定男さん(34歳)が、仏壇等の漆塗の仕事を始められましたのでご紹介します。

二村さんは、本場三重県の仏壇製作会社に就職され、高級手造り仏壇から、一貫製産の仏壇まで幅広く経験されました。特に、漆塗の工程は五年間修業され、どんな仏壇でも塗り上げる技術を身に付けられました。就職された時から、生まれ育ったふるさとで独立したいと考えられ、今回の独立開業の運びとなりました。

将来は木工組立、漆塗、金箔貼りまでの一貫製作工場にされる事が目標だと語っていただきました。お伺いした時は、工場の建設作業中で忙しく、漆塗の作業もされていません。漆はとてもデリケートで、仕上がるまでに何度も塗り込まなければならず、乾燥するには二十五度から三十度、湿度七十パーセントの部屋が必要で、ほこりやごみを嫌うため、二重三重のドアで部屋をガードされていました。工場が完成し基礎が出来上がれば、家族を呼び町内に定住されるそうです。今後ますますのご発展をお祈りいたします。



新工場で精を出される二村さん

経営改善普及事業で地域商工業の発展に寄与

愛媛県知事表彰

川上商工会

県連会長表彰

北川照正理事

十一月二十日、松山市の愛媛県民文化会館で愛媛県商工会連合会主催の商工会法施行三十周年記念式典が開催され、川上商工会が優良商工会として愛媛県知事表彰、北川照正氏が役員功労者として愛媛県商工会連合会長表彰をそれぞれ受彰されました。

地域商工業の改善発達に貢献

久保田会長に中小企業庁長官表彰

十一月二十九日、東京・渋谷のNHKホールにおいて、全国商工会連合会主催の商工会法施行三十周年記念式典並びに商工会全国大会が開催されました。

商工会法施行三十周年記念式典では、皇太子殿下ご臨席のもと、経営改善普及事業の推進に尽力された功労者の功績を讃えるための記念表彰を実施し、地域社会にお

並びに経営改善普及事業の推進に努め商工業の振興に寄与された。また、北川氏は長年にわたり役員として円滑な商工会運営と、地域商工業の発展に寄与されました。

現在は理事として、商工会活動に積極的に取り組んでいただいています。



北川照正氏

春夏秋冬

イラク問題が越年し、しかも一月十五日という期限付きで戦争か平和かのにらみ合いが続いているなかで、例によって年頭のテレビ・新聞は平成三年の日本経済予測を報じている。

中東で実際に軍事衝突があるかどうかで大きく変動するとはいえず、おおむね希望的観測をふまえて堅調に推移するという。

例えば、企業の一般的な設備投資はスローダウンするものの、技術・研究投資は増加する。住宅投資は、ローンの圧迫・金融規制などから多くは期待できないまでも、百五十万戸はいくだろう。個人消費は若年層・サラリーマン世帯の

車・グルメ・レジャーなどアウトドア消費を中心に四％はのびる。公共投資は名目で六％増えるし、物価は二％程度の上昇で止まる。日本の経済の強さは、労働生産性の伸びと省エネの徹底による物価の安定である。オイルショックといわれた時期を一〇〇とするアメリカは七〇であるのに、日本は三七まで石油依存度を下げている。よく研究し、よく働いて、適当に遊ぶ、この循環が安定経済を支えていることになる。

研究機関のデータによって数字は多少違うが、おおむね良好な成長を続けるであろうとの予測では一致している。

一月九日、全世界が注目する中スイスのジュネーブで米・イラクの外相会談が行われた。実質六時間余りにわたる緊迫した会談の結果は、お互いがこれまでの主張を繰り返しただけで、和平へ向けての表面的な成果は得られなかった。残された六日間にあらゆる外交ルートを通じて平和解決のための調停がなされるであろうし、ブッシュ大統領も十五日が過ぎればただちにイラクを攻撃するとは言っていない。まだ希望はあるが、アメリカ国民千五十七人を対象にしたアンケートでは六三％が米国の武力行使を支持するとい、クウェートからは難民が近隣諸国にあふれ出て収拾がつかないという。平和への祈りを今年ほど切実に新たにすることはない。

思い出とともに...

予子林 藤原正嘉 (72才)

私は、大正八年十月に柳沢村本郷で生まれました。昭和八年に尋常小学校高等科を卒業して二年くらいは家事手伝いをしていましたが、前に県議会議員をしておられた森永さん所にやっかいになることになりました。仕事は運送業で私は「はたのり」と呼ばれとりましたが、今で言う助手みたいなもんでした。仕事のあいまに運転を習ったりましたが自信がなくて免許をとりに行ったのが昭和十五年の六月頃でした。

当時の試験場は、松山城の裏に在りました。試験は「目」という字の格好をしたコースを右下の方から前進でグニャグニャと上の方に進んでいき、それからバックでグニャグニャと出発点まで戻るものでした。コース合格すると次に外周試験がありました。あの時は、伊台の方へ行きましたが隣に乗っていた試験官がスピードメーターを隠し「今、何kmで走っとるか」と聞いてきました。うまく言い当てると「おまえは相当無免許運転をやっとるな」と言われました。その日の受験者は三百人おったんですが合格したのは七人だけでした。運良く私も合格し免許証をもらいました。番号はちようど六〇〇番と覚えやすいものでした。



結婚して、銚岩さんが居られるところに住んでいましたが、十九年の大洪水で何も彼も流されてしまいました。免許証も流されてしまいましたし事故もあつたりして嫁の里へ帰ることになりました。予子林では電気はまだ無く、こえ松を焚くカンテラの生活でした。主にタバコを作っていました。農閑期には出稼ぎにできるようになりました。鹿野川ダムの関係で旧

予子林発電所が移転するため隧道堀の工事があり、奥村組がやっています。以後、隧道工夫として穴に入る生活が続きましたが体の調子がおかしくなり、四十三年の八月で辞めて帰りました。

出稼ぎに出ることをやめても体のほうは少しも良くなり、医者通いが続きました。「和気の千秋さん」には、「どこでも良いから大きな病院で検査してもらわないけん」と言い続けられたんですけど、なんとなく行きそびれていました。しばらくして後、保健所のレントゲンで肺の異常が分かり「三島病院」で検査を受け「これ程になるまでなぜ放っていたのか」と言われました。

それから、労災の認定を受けるための手続きをしましたが、すんなりとは行かず、最後に居た山口県の「西松建設」では在籍証明すらしてもらえませんでした。困っていたところ、徳島の中尾さんという私の班長さんだった人が熱心に会社に働き掛けてもらい「証明拒否」の書類をいただきました。

八幡浜の監督署で手続きをして六十三年に認定されました。中尾さん自身も同じ病で苦しんでおられるそうで、会いに行きたく思いますが今の私の体には遠い所です。病院通いが日課の生活ですが今は仕方がないと思っています。

大安はおめでたい？

「大安」ほんとうにおめでたい日でしょうか？

結納、結婚式などの祝い事は仏滅を避けて大安に、葬式は友引以外の日に。お年寄り

はもちろん、若い人でもけっこう気にしている人は多いようです。けれどもなぜ大安がいい日で仏滅が悪い日なのかは、知らない人がほとんどというのが現実ではないでしょうか？

これは「六曜」といって、古代の中国で軍事上の吉凶を占ったのが始まりでできた慣習。

先勝(物事を早く決断、実行するとよい日)、友引(朝夕が吉、昼は大凶。この日の葬式は他人の死を招く日)、先負(午前は凶、午後は吉)、仏滅(何をしても凶、最悪の日)、大安(すべてに吉)、結婚、旅行、勝負ごとなどもうまくいく)、赤口(午前九時〜午後三時まで吉)となっていますが、まったくの迷信なのだそうです。

安の日曜日の結婚式場は超満員。科学の進んだ現在では大安を気にすることなく、仏滅や赤口でもかまわないのです。

ただ、何の根拠もないこと、といっても、たとえば結婚式や葬式は、式を行う当人だけのものではありません。親や親戚などへの配慮は必要です。同じようにプレゼントや贈り物をする時の数字にも注意が必要です。「4」は「死」、「9」は「苦」を連想するので縁起が悪いとされています。

友達どうし、よく知っている人にプレゼントはいいのですが、目上の人に贈り物をする時には、その数が4や9にならないよう注意しましょう。花をプレゼントする時は、4本や9本でなく1本足して、5本や10本の花束にします。詰め合わせや小物を組み合わせる時、4個、9個にはならないように。

くらしの知識

けれども実際は大



第1回

熱き風 心を開く人権集会を開催

～差別のない愛と友情に満ちたふるさとづくりをめざして～

講演記録

わたしの生きてきた道

広見町 坂本市 郎先生

十二月十二日(水)、第一回「熱き風 心を開く人権集会」(下鹿野川)和氣豊子(さん)作)が、肱川中学校で開催されました。

午後一時三十分から、中学校全学級で同問題学習の授業が公開され、その後、会場を体育館に移しました。幼稚園児から一般まで

の人権意識を高めるための絵画やポスター・標語にとり囲まれた体育館には、肱川中学生並びに肱川分校生全員、そして町内外の一般参加者約百五十名が一堂に集い、十二月の肌寒さを感じさせない熱気あふれる中、全体会が始まりました。

◀「友よ」を合唱する中学生



全体会では、開会行事に続き、肱川中学生全員が「友よ」(岡林信康作詞作曲)を合唱しました。続いて、中学生代表(熊野葉留奈さん・金野友樹君・二葉貴義君)、高校生代表(中岡三枝子さん)、保護者代表(坂根修さん)による「わたしの主張」が行われ、その後、県同和教育課米田孝弘先生に御指導御助言をいただきました。先生は、この人権集会を「差別のない本当の愛と友情に満ちたふるさとづくりをめざした素晴らしいふるさと創生事業である」と語られました。

最後に、広見町の坂本市郎先生に「私の生きてきた道」と題して講演をしていただき

きました。先生は、高等学校同問題学習資料「人間の輪」にも同内容の手記を載せておられます。静かな口調で、自らの体験を淡々と語られました。それだけに、私たちは、一言一言の言葉の重さをずしりと感じないわけにはいきませんでした。

以下、今月と来月の二回に分けて講演の全内容を掲載いたします。人として、いかに生きることが価値のあるこ

ただ今、紹介にあずかりました広見町の坂本でございます。本日は、肱川町、肱川中学校での「熱き風 心を開く人権集会」にお招きをいただきました。心から感謝をいたしております。人権教育、同和教育に関しまして、私も学習を始めたばかりでございます。肱川町の皆様方の前で話のできる程の者ではございません。

昔から、長い間、低い身分として差別を受けてきたその場所で、私は生まれました。そのことが、



「わたしの主張では、それぞれ自分の経験や考えを発表された。」

とか、もう一度、自らに問い直してみようではありませんか。

現在になるまで、職場で、また社会でどうかかわってきたのか、どのような生き方をしてきたのか、これまでの私の生き様を述べてみたいと思います。その中で、今後の学校同和教育、社会同和教育の推進に、啓発に、何かの役に立ちますれば幸せかと思えます。話の内容には、まとまりのない点多々あると思います。どうか皆様方の中で、整理、理解していただきますことをよろしく願っています。

私の生きてきた道（前編）

昭和三十年に中学を卒業いたしました。家事の手伝い、農業をすることにいたしました。進学するように先生から勧められておりましたが、貧しい家の事情で行くことができませんでした。米を作り、麦を作り、小さな畑には、芋を作りました。

そうした農作業の間には、土木の仕事に通いました。一緒に汗をかき、回りの大人たちの口々から、嫌な差別の言葉にさらされるようになっていきました。貧しいが故に、貧乏が故に差別されるのだと、中学校出た当時の私は、そう思いました。「ならば、金をためよう。金をためることで、金持ちになることで、差別されなくなるのなら、どんなことを我慢しても、まず金をためよう。」そういった考え方になっていたころ、自衛隊が募集していることを知りま



自らの体験を静かに
切実に語られる講師
坂本市郎先生

自衛隊に入隊 そして……

昭和三十三年、十八歳になったとき、私は自衛隊に入隊をいたしました。配属されたのが、松山の部隊でした。訓練は厳しい毎日の連続ではありましたが、今までの貧しい私の生活からみれば、いくら訓練が厳しくても私にとっては、そこは天国のようなものでした。食べる物、着る物、寝る所、何一つ不自由しませんでした。友達もたくさんできました。計画通り、金もためることができ、楽しい自衛隊生活を送っておりました。

そうした、ある夜のことでした。消灯ラッパを遠くに聞きながら、眠りに誘われていたときでした。酒に酔って外出から帰ってきた先輩が、部屋の中で騒ぎ始めました。

「この中隊に、エタがおるぞ。エタ起きる。」

何度も、何度も、そう騒ぎながら、そして、私の寝ている枕元にもやって来ました。そこでも、私にとって一番嫌な言葉を、何度も言いふらしました。私は、ベッドの中でどうすることもできず、ただ小さくなって震えておりました。

しばらくして、当直の方が、その人を連れて行きました。私は、ほっといたしました。部屋はまた、静かになっていきましたが、眠れませんでした。

この時ほど、自分の生まれたふるさとを恨んだことはありませんでした。私を生んでくれた母親も恨みませんでした。しかし、「私は、部落に生まれてしまった。これは、もう、どうすることもできない私の運命なんだ。そこで生まれたことで、嫌な思いをしたり差別されるのは、これはもう、しかたのない私の宿命なのだ。」と、あきらめるよう自分に言い聞かせました。

涙が止まりませんでした。先輩から差別発言を受けても、どうすることもできませんでした。「今に見ておれ、今に見ておれ！」私は、心の中で、その言葉だけを叫んでおりました。

まんじりともしない一夜が明けたその翌日、私は、先輩に顔を合わせました。私は先輩の顔を見ながら、昨夜の涙を思い出しました。「このまま泣き寝入りをするものか。きっと見返してやる。何かの

面で勝ってやる。」私は改めて心の中で、そう誓いました。

射撃競技に取り組み

自衛隊では、銃を持って訓練をする射撃の種目と、体に防具を付けて体力をつける柔剣道、野山を駆けぐる持久走、この三種目が重点的に行われておりました。私は、先輩より体の小さいことも考え、体力をさほど必要としない銃を持って訓練をする射撃の種目を選びました。「人と同じことをしていたんではいけない。人と同じ訓練だけではないけない。人が遊んでいるときに、よけい練習をする、訓練をする、これしか勝ち目はない。」と、そう思いました。

一日の訓練が始まるまでの朝の時間と、訓練を終えた五時以降の時間、練習を重ねました。友は、夕食の後風呂に入り、売店でコーヒーなどを飲んで楽しんでる時間、私は一人で、暗くなるまでずっと練習を重ねました。雨の日も、風の日も雪の日も休みませんでした。特につらかったのは、冬になり銃を持ったその手が、寒さのためかじかんでしまうことです。つらいときは、「今に見ておれ、今に見ておれ！」自分にそう言い聞かせ、励まし、一日も休むことをしませんでした。

一年が、あっという間に過ぎ去って行きました。ちょうどその時、松山の部隊で射撃大会が行われま

した。私は、その大会で、よい成績を出すことができました。その事を、上司の方がみんなの前で、「模範である。」

そうほめてくれました。その当時の私にとっては、その一言ではあったが、その言葉には本当に勇気づけられました。苦しい時は、また、その言葉を思い出しながら、そしてまた、一年練習を積み重ねました。

努力の成果、代表選手に

いろんな大会で松山の部隊代表選手に選ばれ、出て行くことが多くなっていきました。その年、自衛隊での射撃の全国大会が開かれました。私は、松山の部隊代表選手に選ばれ、その大会に臨みました。その大会は、静岡県富士山の麓にある立派な射撃場で行われました。そこで行われた大会で、私は、十番以内に入ることができました。

そのことがきっかけとなり、東京の体育学校から、『オリンピック要員として』という通達が、松山の部隊に届きました。そのことを上司の方から知らされたとき、「あの嫌な先輩から逃げる事ができる。私の生まれたふるさとを知ってしまったこの松山の部隊から離れることができる。」と、そう思いました。私にとってその事が、何よりも嬉しかったのです。

間もなくして松山を離れ、私は、東京に向かいました。東京は、私にとって初めてでした。「遠くへ来たなあ。」そうした心の中の不安は残りしましたが、「私の生まれたふるさとを知る者は、この東京には、この体育学校には、もう誰もいない。」そう思うことが何よりも私をほっとさせました。しかし、「今に見ておれ」という気持ちちは、変わりませんでした。「今度は、自衛隊一位になってやろう。」私は、改めて目標をそう定めました。

全国から選ばれた選手が一堂に集まり、そして合宿訓練が始まりました。私は、特訓に特訓を重ねました。日曜日など、友が外出をして酒を飲んで楽しんでる時間、私は一人でずっと練習を重ねました。祭日も全て練習に練習を重ねました。「他人を見返すことは、差別に打ち勝つことにつながっていく。」そう思っていました私は、つらいことや苦しいことは、さほど苦になりませんでした。

昭和三十七年になったとき、自衛隊での全国大会が、また行われました。大会会場は、一回目と同じ静岡県の射撃場でした。私も二度目の大会参加となり、その大会に出場しました。そして、自分の出番が近づくとつれて、胸が踊り、足が震え、手が震え始めました。私は、必死になって神に祈りました。「神様、どうか手の震えを止めて下さい。足の震えを止めて下さい。」

「さう、そう必死になって祈りましたが、その手の震えは、いつこらに止まりませんでした。」

銃を取り、射線に着いたときでした。私はふと、隣の選手の銃を持ったその手を見ました。手が震えておりました。さらにその横の選手も、同じように手が震えているのが分かりました。私は、このとき、こう思いました。「この大会で手が震えているのは、私だけではない。私の横の選手も、さらに横の選手も、また、この大会に参加している全ての選手が、私と同じように胸が踊り、足が震え、手が震えている。ならば、条件は同じだ。五分と五分だ。」そう思いました。「それならば、この日のためにひとときも時間をむだにできなかった、そういった練習の量では、私の方が有利なはずだ。そうだ、私の方が有利だ。」私は、そのことだけを自分に言い聞かせました。一発初弾を撃ったとき、もう、その手の震えは、さほど気になっていませんでした。練習をしたとおり、一発一発精魂込めて撃ちました。そして私は、その大会で優勝をすることができました。

世界選手権出場!

その大会を終えてしばらくした時、東京で全日本ライフル協会が主催をいたしました世界選手権選手選考会の大会が開かれました。自衛隊からも数名選ばれ、その大

会に参加をいたしました。その大会は、これまで世界選手権に参加したことのある選手やオリンピックに経験のあるベテラン選手ばかりの大会でした。その大会の中で、私は、外国に行く世界選手権の選手に選ばれました。「やった、ついにやった。俺は勝った。」この数年間、耐えに耐えてきた、そうした自分を自分がほめてやりたかったです。何よりも嬉しかったことは、「これでもう差別されないうですむ。」私は、そう思いました。

それから間もなくして、世界選手権に参加するため、日本を離れ、世界選手権会場となったエジプトのカイロ市に向かいました。ピラミッド、スフィンクスのすぐ近く、砂漠の入口付近に三階建てのビルが建てられておりました。そこが、世界選手権の大会会場でした。三階建ての立派なビルでした。一階からは、二十五メートル、五十メートルの短距離、二階からは、二百メートルの種目、三階からは、三百メートルの種目といったように、砂漠に向かって撃つ射撃場でした。建物是非常に立派ではありましたが、撃った玉は砂漠のかたに飛んで行くといった日本では考えられないような射撃場でした。

そこで、世界選手権の大会を終え、その後、ドイツの射撃学校で一ヶ月訓練を受けました。その後、ヨーロッパ七ヶ国を回り、三ヶ月後日本に帰って参りました。私は、次の目標を東京オリンピックにおき、

そして、猛練習に入りました。世界選手権の時の私の成績は、世界のトップレベルにまだ差のあったことや、そういった苦い経験や、そしてドイツの射撃学校で学んだことを教訓にして、私なりの取組で月日が流れました。

転属、また転属…… 周囲の冷たい視線が

そうしたある日のこと、私を見つめる同僚の冷たい視線が気になっていきました。体育学校でトップを切って世界選手権に参加した、そうした私に対するねたみのようなものであらうと気にしないで過ごしておりましたが、そうではありませんでした。私の生まれたふるさとが、あばかれておりました。自分の生まれふるさとから遠く離れた東京は、百パーセント大丈夫だと、そう思っていただけにショックでした。肉体的な苦痛には耐えていくだけの自信を身に付けておりましたが、回りの同僚の冷たい視線や、そして、私を見ながらこそ話を話していく、私が部屋に入るなり、話をしていた同僚がバツと話をやめ散らかって行く、そういったことの繰り返しの中で、私は、日一日と居りづらくなっていきました。私は耐えかねて、また、転属を希望いたしました。私は、その部隊で、自分の生まれたふるさとが分かってしまうと、また転属を希望し、その繰り返しをずっ

としておりました。そして、大阪は伊丹の部隊に配属をされました。その部隊は、普通科部隊でした。昔でいう歩兵部隊です。第一線部隊として、特に射撃が盛んな部隊でした。その部隊では、私は、射撃の教官として歓迎をされました。そういった面では、多くの人からも尊敬をされ、「いい部隊に来ることができた。」安どの心を抱いて生活をしておりましたが、この部隊でも、嫌な差別の言葉にさらされました。

ある時は日常生活の中で、ある時は野山を駆けめぐる訓練をするそうした人の輪の中でも、嫌な差別の言葉にさらされました。そうした人の輪の中で、いつも部落問題の話になったとき、私はみんなと一緒に部落实の悪口を言い、笑い飛ばしてきました。そんなこ



参加者は講師の語り引き寄せられた

とをしてみました後、一人になったとき、なんとも言いようのない自分に追いやられました。自分の生まれたふるさとの人たちをばか呼ばわりをしてみましたそんな自分に対して、父や母や兄や弟たちを裏切ること自分を守る、そんな方法しか知らないなさいけない自分に対しても、なんとも言いようのない自分に追いやられました。

結婚、ここでもまた……

そういった生活の繰り返しの中で、私は、松山の女性と結婚をいたしました。そして、二人の男の子に恵まれました。

ある正月、私は、妻と子供を連れ、里帰りをしました。元氣な母親にも会うことができ、妻の里にもあいさつを済ませ、そして、また伊丹に帰って来たその夜のことでした。深刻な顔をした妻が、私に、こう言いました。

「あなたが、部落出身であったことを、今まで私にどうして隠していたの。」

強い口調で、私をなじりました。私は、言葉が出ませんでした。妻にだけは、知られたくありません

でした。私にとって一番恐れていたことがとうとう来てしまった、そう思いました。それまで、自分の勤める職場の中で、嫌な差別の言葉にさらされても、その話だけは、家に持ち帰り妻に相談もできず、私は、ひたすら自分の胸の中にとじ込めていました。しかし、今回は、そうした私の胸の中に一段と輪をかけるようにして、家庭の中で妻からも差別の矢先を向けられました。言いやらない、はち切れそうな自分を押さえるのが、せいっぱいでした。「どうにもなれ。」私は、そう思いました。

そのとき、四歳になる男の子と生まれたばかりの子供が目に浮かびました。この子供たちのために、そう観念いたしました。

「すまん。すまんかった。」
畳に頭をつけるようにして、私は何度も妻に詫言いました。妻は離婚を決意しておりました。私は、頭を下げるだけではどうしようもないなど、そう分かったとき、結婚する前に部落の生まれを隠していたことや、結婚してからこれまで五年間、そのことを隠し続けてきた私の胸の中の苦しみを全部訴え

ました。そして、離婚だけは免れましたが、それからというものの妻に対して一歩下がった引け目を感じるような毎日でした。仕事を終えてからも、家に向かう足取りに重いものを感じたことや、このままだこかへ消えてしまいたい、そう思ったこと何度もありました。しかし、私は、「私は、まだ射撃が残っているんだ。私には、まだ射撃があるんだ。」自分にそう言い聞かせ、私は射撃の訓練それだけに没頭いたしました。

部落に生まれたことが 昇級にも影響するの？

昭和四十四年に入ったとき、長崎県で国体が開かれました。私は、大阪府代表選手に選ばれて、その長崎国体に出場いたしました。そして、その、大会で優勝をするこ

も後輩に先を越されておりました。ですから、階級の上がることは、あきらめておりました。「この階級で定年まで行っても、それでもいいや。そして退職金をもらったら田舎へ帰り家を建てよう。」そういった私なりの望みで、ずっと目をつぶってきておりました。私は、今回昇級することは、これは、私が射撃の教官として体をはって一所懸命尽くしてきた、そうした私の姿を認めてもらったのだと、そう感じました。発表が待ち遠しく、訓練にもなお一層、精が出ました。

発表がありました。しかし、私の名前はそこにはありませんでした。多くの人から「よかったな。」と祝福の言葉をかけられていたのに、今になって穴があったら入りたいたいような心境で過ごしておりました。

それから数日たって、上司の方が、私を励ましてくれました。「まあ、氣を落とすな。この次は絶対間違いないからな。君が、部落の生まれだと言って反対する人がいて、わしにはどうしようもできなかつた。」

そう言ったのです。私は、ショックでした。「部落に生まれたことが、昇級にも影響をするのか。」そう思った時、「もうやめよう。」そう思いました。「この部隊を去って新しい部隊に行っても、こんなことの繰り返しになるのなら、もう一度、人生をやり直そう。」そ

う思いました。

私はその事を、妻に相談をいたしました。妻は、私が自衛隊をやることは反対でした。三人の子供をかかえ、家計を預かる妻としては、自衛隊を去ってからの職業もまだ決まっていなそんな私に、ついて行くだけの自信がなかったのだろうと思います。そういった妻の言い分も、もともとだと私は思い、また職場に帰りました。

自衛隊に終止符

そうして、月日が流れていく中で、回りの同僚の視線を気にしながら、そして同僚のこそそ話を気にしながら、私はじっと自分に我慢をするように言い聞かせながら、みじめな思いをしているそうした自分を、自分が見つめたとき、「このままでは、自分がダメになる。」そう思いました。頭の中では、退職金が非常に光ってはいましたが、それよりか、「私の方がダメになる。」そう思いました。差別から逃げようとして、もがいても逃げるのができなかった自衛隊の二十二年間に、私は妻の反対を押し切って終止符を打ちました。

(以下次号につづく)

II 人権標語 II

摘みとろう差別の芽 育てよう平等の花

大洲高校脇川分校 三年 増田義人

分館役員研修旅行 大谷分館

九月下旬に予定していた九州方面の研修旅行は、生憎台風二〇号の九州接近により、出発前に中止となりましたが、旅行の熱は冷めず、十二月中旬、本館で計画していただいた日程で、高知方面へ計画を変更して実施しました。

十五日(土)朝八時、大谷を出発し、城川、日吉を経て高知県梼原町へ着きました。

梼原町教委の方から、町おこし、地域づくり(産業、文化、環境保全)の取り組みについての説明を受け、意見交換等を通して、この地の様子を垣間見ることができました。次に歴史民俗資料館を見学しましたが、収蔵物品の多いのは目を見張りました。

高原の町梼原町は四万十川の上流にあり、町をより活性化するため、国土庁のリフレッシュ古里推進モデル事業により、太郎川公園がつくられたそうです。広大な敷地に、ハイキング、スポーツ、体験学習ができる施設が整えられ、自然の中で、町外の人々との交流と地域住民の憩いの場や研修の場として、活用されているそうです。町には、国指定の重要無形文化財として、津野山神楽が継承されていることも知りました。

太郎川公園内には、維新の道と

して、坂本竜馬をはじめ、土佐勤王党の志士たちが、脱藩した道が今も残されています。

梼原を後に、国道一九七号線は東津野村、葉山村へと向かいますが、谷合いの到る処に、見事に手入れされた茶園が見られ、この地方の特産品であることが分かりました。

須崎市から脇道にそれ、黒潮躍る太平洋、澄んだ碧い入江の続く横波三里へと進みました。静と動の織りなす景勝地にある回転レストランで昼食をとりましたが、食べながら三百六十度の眺めは実にすばらしかったです。食後、右手に黒潮打ち寄せる太平洋を眺めながら車は進み、月の名所と五色の砂浜が続く桂浜へ着きました。師走も半ばと言うのに観光客も多く、さすが名所だと感心しました。

桂浜から、途中、はりまや橋を横目で眺め五台山へ登りました。牧野植物園も見つけたのに、時間の都合で素通りして、見晴らしのよい頂上に立ち、土佐湾と市街地を見学し、宿舎である土佐御苑に着きました。早速十階にある展望大浴場で旅の垢を落とし、夕食は高知名物の皿鉢料理を美味しく頂きました。

十六日(日)天気晴、朝食後日曜

市の見学に出発しました。数百メートルもある長い市場には、食料品、衣類、雑貨、名物の刃物、花木等が沢山並べられており、正月も近いせいか買物客も多くて、とても賑やかでした。

竜河洞の見学をすませ、西島園芸団地を訪ねました。甲子園球場の三倍の広さをもつ敷地に、大型のビニールハウスが建ち並び、壮観でした。メロン、西瓜はもとより、南洋のパパイヤも熟れており、直売所では、多勢の来客の応対や、試食の接待に忙しそうでした。ここは観光農園で、見る・食べる・学ぶの三要素を備えた施設だそうです。園内には亜熱帯の植物がひしめき合い、珍しい花や実を付けた

樹木や花木が沢山あり、いろいろと勉強ができました。

一泊二日の日程による研修旅行でしたが、参加した者全員が、多くの喜びや楽しみを得たものと思えました。

減多に行けないから沢山学習をさせてやろうと、周到な計画を立てて下さった本館の方、車の運行では安全運転に細心の注意をはらっていたいただいた運転手さん、ご苦労様でした。おかげ様で、楽しい旅行ができました事に深く感謝いたします。旅で得た数々の事柄が今後の生活に活かされれば幸だと念じております。

(大谷分館長 土井 豊城)

中央分館 パドミントン大会

報告



優勝 金野・和気ペア

十二月三日(月)に、中央分館主催による、第五回男女混合ダブルスパドミントン大会が、農業者トレーニングセンターで開催されました。

毎年開かれており、町内のクラブと河辺村からの参加もあり、今まで最高の二十三チームで四ブロックに分かれ技を競いました。結果は、次のとおりです。

- 優勝(脇川C)
- 優 勝(脇川C)
- 金野 翌・和気マサ子ペア
- 第二位(河辺村C)
- 藤田豊寿・高橋啓子ペア

- 第三位(脇川C)
- 三井 稔・亀岡幸子ペア
- 第四位(河辺村C・脇川C)
- 酒井 勇・奥田重美ペア

フアインダー

平成三年を迎え、脇川町の皆様おめでとうございませう。今年も又、フアインダーからの駄弁を並べますが、宜しくお願ひします。昨年は午歳、勢いの良い年で、中東の方では、大変な暴れ馬が出て来て、世界中を恐怖に落とし入れてくれましたが、今年羊歳、おとなしくなつて平和に解決して欲しいものです。

羊と言え、羊の付く漢字を調べてみますと、なんと良い事づくめなのには驚きました。

美・善・祥・羞・羨・義・羹。群・羴・痒・詳等沢山有ります。うつくしい、正しい、さいわい、めでたい、よい、すすむ、みち、なかま(朋友)等本当に良い事づくめの漢字の元になつてゐるのが「羊」なのです。善という字の初めの字は、羊に言を二つ合わせた「善」と言う字だそうですが、羊の言うこと言うことは全て「善」であるというのだから、面白いではありませんか。

だから、羊歳生まれは、みんないい人なんですね。あやかつて、平成三年をいい年にしたいものです。

文化講演会ご案内

○日時 平成3年1月29日(火)
午後1時30分～3時

○場所 肱川町公民館集会室

○主催 川上商工会・肱川町公民館
肱川町文化協会

■講師 海原小浜氏
(元)漫才師

■演題 “母親の愛情でもっと
子供を叱りなはれ”

○入場は無料です。
みなさんのお越しをお待ちしています。

ご協力をお願いします

一わが町の 生活資料収集一

歴史民俗資料館

先月の部落長会を通じてお願いしました、「わが町の生活資料収集」は、民俗資料委員さんの正月休みを返上してのご活躍と、皆さんの深いご理解により、現在二百点の提供をいただきました。厚くお礼申し上げます。

ご承知のように、社会の仕組みの変移、伝統的な生活様式や風俗慣習を急変させている今日、有形無形の文化財は、日ごとに失われ、忘れ去られています。今こそ、その保護が大切だと思います。引き続き各家庭にお願いに参りますが、一層のご協力をお願いいたします。

図書紹介

「古事めぐり百科」

主婦と生活社出版

図書委員 浜田 イツミ

県別に、しかも目的に合わせて楽しめる美しい仏像の写真集が、人のこころをとらえて離しません。国宝、重要文化財の仏像三十三点をじっくり眺めることによって心がなごみ、とてもおだやかな気持ちになると同時にその仏像の歴史的背景も知ることが出来ます。美しいカラーページで紹介された中で特に「歴史に登場する寺」では、各寺と人物の密接な関係に重点をおいて解説され、時代の流れも理解できるようにまとめてあります。

「花のあるお寺」の頁では、特に

目を見はる思いです。寺には花があり、花はまた寺によく似合います。春を知らせる梅、秋の紅葉、天然記念物の老木など花の寺は全国に数多くありますが、その中から十八寺が厳選されています。花と境内、伽藍との調和は、たまたまいのみにごとき、四季折々の美しさと共に、日本独特の美的空間を知ることが出来ます。

あわただしい毎日の生活の中にあつて、この本はどの頁もどの頁も穏やかな優しさに包まれており心が洗われる思いです。

石楠花

俳句

板倉 勉
初春の雀の声に目覚けり

亀田 美登
柿の駅発って着きたる柿の駅

菅野 松雄
柚子一つ袋に仕舞う遍路かな

清水 美和子
淋しさを耐えたる背中十三夜

山内 さかえ
昼憩う土工は柿を丸かじり

◇カップル紹介◇

おめでとう

富永陽一さん(京造)
佳代さん(旧姓二宮)
12月23日



公民館結婚式

2月の行事予定表

2月	1	・肱川町防災の日	7	・特設人権相談
	3	・各小学校学芸会	上旬	・観光協会総会
	4	・肱川中少年式	11	・消防出初式
	5	・行政相談	21	・定例部落長会
	5、20	・心配ごと相談	28	・防火パレード
	6	・森林組合総会	28	・税金等出張受入れ
2/16~3/15納税相談				

日程	2月19日 (火)	2月13日 (水)	日程
場所	大平集会所	上森山集会所	場所
時間	午後2時30分~3時	午後2時30分~3時	小畑井集会所
	午後2時	午後1時30分	時間
	午後2時	午後1時	午後2時

◎健康相談

保健・衛生

2月の日曜・祝日当直医

日	当直医	電話
3日 (日)	町田医院 (内子町)	43-0211
	清水医院 (大洲市志保町)	24-2017
10日 (日)	成田医院 (内子町大瀬)	47-0061
	祖母井医院 (大洲市中村)	24-3756
11日 (月)	松浦医院 (五十崎町)	44-2776
	沢井医院 (大洲市中村)	24-2510
17日 (日)	藤本医院 (五十崎町)	44-2561
	沢井医院 (大洲市中村)	24-7530
24日 (日)	植木医院 (五十崎町)	44-2215
	亀井医院 (大洲市東大洲)	24-3757

※変更になる場合がありますので前もって連絡してからお出かけ下さい。

救急病院

曜日	病院名	電話
月・火	大洲市立病院 (大洲市大洲)	24-2151
水	加戸病院 (大洲市若宮)	24-5101
木~日	大洲中央病院 (大洲市東大洲)	24-4551

◎2月の不燃物収集
 ▽収集日 2月15日(金)
 (出すのは2月14日中に)
 ▽収集地区
 予子林・岩谷・正山地区・見の越・月野尾・京造・鹿野川・中野(篠谷・滝山)・上森山・八重栗

◎不用犬回収日
 ▽日時 2月12日(火) 午前9時まで
 ▽場所 保健センター
 ※印鑑をご持参ください。

◎1歳6か月児・3歳児健康診査
 2月7日(木) 保健センター
 午後1時~2時

◎ムシ歯予防教室
 2月5日(火) 保健センター
 午前9時30分~10時30分

◎乳幼児健康診査
 2月1日(金) 保健センター
 午後1時~2時

◎健康づくり料理教室
 2月6日(水) 共栄集会所 午前10時
 2月14日(木) 大谷公民館
 2月21日(木) 予子林公民館
 2月26日(火) 正山公民館 午後2時

相談ごと案内

◎行政相談

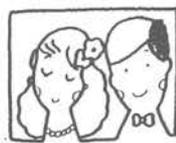
▽日時 2月5日(火) 午後1時30分~4時30分
 ▽場所 肱川町公民館
 ▽相談員 福田 保委員
 ※自宅相談も受け付けています。
 ☎三四一五〇八

相談日	担当相談員
2月20日(水)	万池 願寺 江市
2月5日(火)	大塚 千鶴 江保

◎相談ごと案内

▽時間 午後1時30分~4時30分
 ▽場所 肱川町公民館

相談ごと案内



※特設人権相談所の開設
 日時 2月7日(木) 10時~15時
 場所 肱川町公民館3階和室
 人権関係でお悩みの方は気軽にご相談下さい。秘密は守られます。

◎結婚おめでとう
 富永 陽一さん(肱川町京造)
 二宮 佳代さん(八幡浜市)

☆☆☆☆☆ お誕生おめでとう ☆☆☆☆☆
 ☆☆☆☆☆ います ☆☆☆☆☆

上鹿野川 岩本 数明さん	大平 門脇ヒサ子さん (72歳)
柳 長女 明香里ちゃん	上森山 大野千鶴子さん (53歳)
東 眞一さん	〃 大野 梅子さん (79歳)
二男 建二ちゃん	小倉 瀧野 兼吉さん (90歳)
高野 政明さん	
長女 静夏ちゃん	
大野 錠児さん	
長男 伴希ちゃん	
三瀬 仁人さん	
二男 理都輝ちゃん	

☆☆☆☆☆ ごめいふくを お祈りいたします ☆☆☆☆☆

大屋敷 岡本完一 郎さん (52歳)
 下嵯峨谷① 山根 勝實さん (76歳)
 中津 岡山 熊男さん (75歳)
 下嵯峨谷① 西山源次郎さん (80歳)
 大平 (80歳)
 上森山 (72歳)

